

防火標語

守りたい
未来があるから
火の用心



発行所
公益財団法人長野県消防協会
(長野県庁西庁舎)

〒380-8570
長野市大字南長野字幅下 692-2
TEL (026) 232-5319

編集発行人
上 條 博文

長野県消防協会 <http://naganoken-syouboukyoukai.com/>

◆ 令和6年度 収入支出予算書

(単位: 千円)

収入				
科 目	R6年度(A)	R5年度(B)	比較(A-B)	説 明
基 本 財 産 入 入	6,906	6,906	0	基本財産運用収入
事 業 収 入	5,597	5,869	△ 272	福祉共済事業加入事務費交付金
長 野 県 入 入	5,450	5,450	0	県消防操法等大会開催補助金
日 本 消 防 協 会 補 助 金 収 入	4,815	4,734	81	日本消防協会補助金
雑 収 入	2,592	2,483	109	
財 政 調 整 積 立 金 取 崩 収 入	0	0	0	
当 期 収 入 合 計 (A)	25,360	25,442	△ 82	
前 期 繰 越 収 支 差 額	4,522	6,582	△ 2,060	
収 入 合 計 (B)	29,882	32,024	△ 2,142	

支出				
科 目	R6年度(A)	R5年度(B)	比較(A-B)	説 明
広 報 事 業 費	520	351	169	信州消防年4回発行
予 防 宣 伝 対 策 事 業 費	483	471	12	県女性消防団員活性化会議啓発物品発送等
教 養 訓 練 事 業 費	9,720	9,001	719	県消防操法大会、団長研修大会等
表 彰 事 業 費	2,317	2,125	192	定例表彰等
弔 慰 救 済 事 業 費	1,849	1,782	67	慰霊祭、弔慰見舞金等
管 理 費	12,685	11,631	1,054	人件費、会議費
特 別 積 立 預 金 支 出	218	206	12	
当 期 支 出 合 計 (C)	27,792	25,567	2,225	
当 期 収 支 差 額 (A-C)	△ 2,432	△ 125	△ 2,307	
次 期 繰 越 収 支 差 額 (B-C)	2,090	6,457	△ 4,367	



第3回 理事会

公益財団法人長野県消防協会の令和5年度第3回理事会を3月12日(火)長野市内で開催しました。会議には18名の理事及

第3回理事会開催 令和6年度事業計画及び予算承認される

び2名の監事が出席。会議に先立ち、来賓の県危機管理部前沢直隆危機管理監兼部長からあいさつをいただきました。

理事会で承認された議案は次のとおりです。

- ① 令和6年度事業計画(次項)
- ② 令和6年度収入支出予算(別表)
- ③ 長野県消防ポンプ操法大会操法実施要領・操法大会審査要領の一部改正
- ④ 第33回県消防ラップ吹奏大会ブロック推薦審査員の承認

東信 柴田隆一氏(上田市)

また、来年度の県消防ポンプ操法大会・県消防ラップ吹奏大会実施要綱と県ラップ吹奏大会実施要領について承認いただきました。細部の修正が生じた場合、次回5月の理事会で報告することとされました。

理事会終了後、来年度の県大会の出場順のくじを各理事に行っていたいただきました。

南信 上原博行氏(諏訪市)
中信 山田 勝氏(木曾町)
北信 瀬在正生氏(千曲市)

⑤ 資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類(該当なし)

○消防団員指揮幹部科
(県消防学校)
分団指揮課程が3月8日(金)・9日(土)、現場指揮課程が3月15日

- ・ 岡谷市消防団 荒井俊進分団長
- ・ 安曇野市消防団 宮入崇班長
- ・ 女性消防団員の部 奥谷佳隆分団長
- ・ 岡谷市消防団 宮上織衣部長
- ・ 松川村消防団 合津万倫団員

各種研修行われる

○第50回消防団幹部特別研修
(日本消防協会)
1月16日(火)から19日(金)まで東京都内で開催され、本県からは、飯山市消防団出澤重樹団長が参加しました。



福澤副会長講義



松木副会長講義

協会長講話として、分団指揮課程で上條会長が、現場指揮課程では福澤副会長と松木副会長がそれぞれ現場と指導経験を踏まえた実践的な講義を行いました。

(金)・16日(土)と22日(金)・23日(土)の2回開催され、分団長、副分団長等現場で指導的な役割を担っている消防団員110名が参加しました。



上條会長講義

◆ 令和6年度【事業計画書】

事業名	実施項目	内容
I 会議	1 長野県消防協会関係 (1) 定時評議員会 (2) 理事会 (3) 正副会長会議 (4) 専門委員会 (5) 表彰審査委員会 (6) 参与会 (7) 監査会 2 日本消防協会関係 (1) 評議員会 (2) 関東甲信地区消防協会会議 (3) 関東甲信地区消防協会事務局長会議 (4) 都道府県消防協会事務局長会議	5月29日(水) 5月14日(火) 5月29日(水) 12月6日(金) 3月11日(火) 必要の都度 5月29日(水) 12月6日(金) 9月4日(水) 11月上旬 5月8日(水) 6月27日(木)・3月7日(金) 東京都 6月5日(水)～6日(木) 長野県当番 12月3日(火)～4日(水) 神奈川県 2月28日(金) 東京都
II 防災思想啓発	1 広報事業 (1) 機関紙発行 (2) ホームページ (3) ソーシャルネットワーク(フェイスブック) 2 防火意識の高揚 (1) 定期火災予防運動 (2) 特別火災予防運動 (3) 各種防火イベントへの参加 3 防災運動 (1) 安全運動 (2) 防災運動 4 消防活動への協力依頼 5 女性消防団員の活性化推進	機関紙「信州消防」年4回発行、各市町村、消防団員、消防関係者へ配布 各種事業の周知・実施報告、信州消防団応援ショップ事業、 地区消防協会の活動内容、消防団広報コーナーをHPに掲載 秋(11月) 春(3月) 随時 随時、全日本消防人共済会の小・中学生防火ポスター、作文募集事業(7～8月) 随時 国民安全の日(7月1日) 防災の日(9月1日) 救急の日(9月9日) 119番の日(11月9日) 消防記念日(3月7日) 消防団員の勤務事業所等への協力依頼文の作成・配布(2～3月) 長野県女性消防団員活性化大会(10月6日)、活性化会議(必要の都度)開催
III 消防施設整備改善	1 消防用施設・機械器具の整備 2 消防用車両等の交付申請	必要に応じ国県等に対し請願・陳情等 日本消防協会が行う消防用車両等の交付先消防団の推薦等
IV 消防技術研修教育	1 第66回長野県消防ポンプ操法大会 2 第33回長野県消防ラッパ吹奏大会 3 ラッパ吹奏講習会 4 第14回長野県消防団長・事務主任研修大会 第3回長野県女性消防団員活性化大会 5 消防団員指導員研修 6 副団長講習会 7 第51回消防団幹部特別研修 8 第24回消防団幹部候補中央特別研修 9 第30回全国消防操法大会 10 第29回全国女性消防団員活性化とちぎ大会	長野県消防学校 7月7日(日) 長野県消防学校 4月20日(土) 長野市 シャトレレーゼホテル長野 10月6日(日) 長野県消防学校 12月12日(木)～13日(金) 40名程度 長野県消防学校 6月8日(土) 日本消防協会事業へ参加 1月14日(火)～17日(金) 南信ブロックから1名 日本消防協会事業へ参加 東・中・北信各ブロックから男女各1名 男性1月29日(水)～31日(金) 女性2月19日(水)～21日(金) 宮城県 10月12日(土)(県大会ポンプ車優勝チーム出場) 栃木県宇都宮市 9月19日(木)
V 消防制度等研究改善	国・県・日消に対し請願・陳情	必要に応じ実施
VI 消防関係者の表彰	1 表彰 (1) 長野県消防協会長表彰 (2) 日本消防協会長表彰 (3) 長野県民の消防員表彰	消防関係者等の表彰 各市町村出初式 消防関係者等の表彰 東京都 ニッショーホール 3月7日(金) 消防団の表彰 3月 長野市 NBSホール
VII 共済・福利厚生・弔慰救済	1 弔慰救済 (1) 長野県消防関係殉職者慰霊祭 (2) 弔慰金・見舞金の支給 (3) 罹災者に対する見舞金の支給 2 殉職消防関係者遺児の激励 3 信州消防団員応援ショップ事業への協力 4 日本消防協会等福祉共済事業 (1) 第43回全国消防殉職者慰霊祭 (2) 消防団員等福祉共済 (3) 消防個人年金 (4) 婦人消防隊員等福祉共済 (5) 消防育英会	長野市花岡平 県消防協会当番 9月4日(水) その都度 その都度 図書カードを贈呈し激励(12月) 長野県事業の広報 御遺族代表者等出席 東京都 ニッショーホール 10月3日(木) 加入促進(随時)、消防団員等公務災害補償等実務研修会(11月) 同上 同上 日本消防協会事業の支援
VIII 基本財産等の運用	1 基本財産の有効運用 2 運用財産の有効運用	理事会、総務専門委員会での協議 同上
IX その他	1 関係団体との連絡調整 2 地区協会との連携	市長会、町村会、消防長会等

第76回 日本消防協会 定例表彰

第76回日本消防協会定例表彰式は、3月8日(金)、東京都内で行われ、全国で141団(隊)12,724名が表彰されました。本県では、3団197名が受賞されました。

- ・優良消防団(表彰旗)
 - 辰野町消防団
 - 茅野市消防団
 - 木曾町消防団
 - 中野市消防団
- ・功績章(一般) 29名
- ・功績章(女性) 1名
- ・精進章(一般) 73名
- ・精進章(女性) 3名
- ・勤続章 67名



日本消防協会表彰式

消防庁による表彰式

令和5年度の表彰式が、3月4日(月)、東京都内で行われました。

◆防災功労者消防庁長官表彰

諏訪市消防団
茅野市消防団

◆消防団等地域活動表彰

中野市消防団
塩尻市消防団
木曾町消防団

◆消防団等地域活動表彰(事業所)

株式会社オーク製作所
諏訪工場(茅野市)
三映電子工業株式会社
(小諸市)

◆消防団地域貢献表彰

飯田市消防団・飯田市(連名)(表彰式は4月18日実施)

◆消防功労者消防庁長官表彰
永年勤続功労者章 61名
表彰旗 2団体

大鹿村消防団
平谷村消防団

◆竿頭綬 2団体
松本広域消防局・安曇野市消防団(連名)
千曲坂城消防本部・坂城町消防団(連名)



前列向かって右から4人目 中野市小菅団長
2列目向かって右から1人目 塩尻市百瀬団長
3列目向かって左から1人目 木曾町山田団長

第26回長野県民の消防員表彰

NBS長野放送主催による第26回長野県民の消防員表彰の受賞者が次のとおり決定し、表彰式が3月2日(土)、長野市の長野放送本社で行われました。

・団体の部
王滝村消防団(田近哲也団長) 個人の部
佐久広域連合消防本部
消防司令補 篠原浩一郎氏



長野県民の消防員表彰式



代表受領 ▶
中野市小菅団長

◀前列向かって左
諏訪市小池団長
後列中央
茅野市河西団長

第4回女性消防団員 活性化会議開催

3月3日(日)松本市内で第4回の女性消防団員活性化会議を開催しました。今年度最後の会議には、活性化メンバー10名と上條会長、県消防担当者が出席。来年度の県女性消防団員活性化大会(10月6日長野市)の講演会講師や来年度のメンバーへの引継事項を話し合いました。また、活性化会議の愛称を「信州さくら」とすることも決定。所属する地区消防協会でもさらに交流や連携を深めていくことに期待がかかります。



第4回女性消防団員活性化会議

人事異動

令和6年4月1日付

○危機管理部

〔転入〕

- ・危機管理部次長 大日方 隆(健康福祉政策課長)
- ・消防学校長 吉原 明彦(北信地域振興局副局長)
- ・消防防災航空センター所長 洪沢 陽一(大町建設事務所次長)

〔転出〕

- ・中信教育事務所次長兼総務課長 太田 義浩(消防防災航空センター所長)
- 〔退職〕(3月31日付)
 - ・危機管理部次長 塩川 ひろ恵
 - ・参事兼消防学校長 村上 健一
- 危機管理部消防課
 - 〔転入〕
 - ・課長補佐(消防防災対策調整支援担当) 山岸 絵里(資源循環推進課課長補佐兼資源化推進係長)
 - ・課長補佐(兼消防係長(幹事)) 山口 昭子(県民の学び支援課課長補佐兼高等教育振興係長)
 - ・主任 柴田 勇希(東京事務所退職派遣(消防庁))
 - ・主任(幹事) 田中 浩平(長野市消防局鶴賀消防署消防主事)
 - 〔転出〕
 - ・佐久保健福祉事務所副所長兼佐久福祉事務所長 南沢 潤(企画幹事課長補佐・幹事)
 - ・企画幹事課長補佐(幹事) 市村 敏実(課長補佐兼消防係長・幹事)
 - ・生涯学習課課長補佐 馬場 奈々(課長補佐(消防防災対策調整支援担当))
 - ・市町村課行政係主事 中沢 悟(主事)
 - ・木曾広域消防本部木曾消防署兼同本部消防課主査 北島 龍(主任・幹事)

自分たちの地域は 自分たちで守る



飯山市消防団
団長 出澤 重樹

飯山市の紹介

飯山市は、市域面積202.43km²の長野県内で最も低い千曲川沖積地に広がる飯山盆地を中心に、西に関田山脈・東に三国山脈が走る南北に長い地形を有し、南西部には斑尾高原、北西部には鍋倉山、東部には北竜湖などがあり、多くの自然資源に恵まれた地となっています。人口は約1万8千人、市の文化・市民性としては、江戸時代から続く寺町文化・雪国らしい連帯



障害物を設置した応用訓練



水害に備えた水防工法訓練

と協調の精神があげられ、名僧正受老人の正受庵をはじめとする寺社景観、斑尾・戸狩などのスキー場、千曲川、北竜湖などの自然資源とあわせて、四季の変化と、その折々の風景の豊かなさのある日本のふるさとにふさわしい豊かな風土と魅力をつくりだしています。

飯山市消防団の紹介

現在、飯山市消防団は1本部、

主要交通網として、国道117号・292号・403号が市内を走り、長野市から新潟県十日町方面へJR飯山線が走っています。また、平成27年3月には北陸新幹線が金沢まで延伸し、北陸新幹線飯山駅が開業しました。



ボートを使用した救助訓練

9分団で構成され、団員の条约定数は780名です。団本部は団長以下5名の本部員の他に、救助隊、救護隊、ラッパ隊及び女性分団で構成されています。昨今、中核を担う世代の消防団員が減少傾向にあることや、住居と職場の距離が離れておりすぐに駆けつけられない団員の増加など、団員確保が年々厳しい現状である一方、災害の多発化・激甚化により、住民の消防団へ寄せる期待や役割は益々大きなものとなっています。そのため令和5年3月に「飯山市消防団処遇等改善計画」を策定し「団員の年額報酬等の見直し」、「団員の条约定数の見直し」、「機能別消防団員制度の導入」、「行事、訓練や区等行事への協力」、「消防車両運転にかかわる体制整備」、「団員に対する安全装備品等の充実」の改善を順

飯山市消防団の活動

飯山市消防団では災害現場で必要となる知識、技術の習得、さらに団員の士気高揚と市民の防火・防災意識の普及啓発を図ることを目的に、年間を通して様々な行事や訓練を行っています。団員への負担も消防団員確保を困難としている要因の一部であることから、行事、訓練は半日を目標に時間短縮するように努めています。又、消防団は区との関わりが強く、道祖神祭りの警戒、警備などの区行事への協力も行っています。今年度11月には消防団の活動を広報し、地域の防災意識を向上させる取り組みとして、消防フェスタの開催を予定しています。

飯山市消防団「丸」となって

令和6年1月1日に発生した令和6年能登半島地震では地震、火災による甚大な被害があり、改めて消防団の重要性、期待、関心は高まっています。そ

ういった中で団員は不足しており、新入団員の確保は困難な状況です。現在の消防団の置かれる環境を見直すと共に、団員確保に向けた消防団をアピールする取り組みについても力を入れていく必要があります。その中で、令和6年度より新たに「消防フェスタ」を開催し、地域へ消防団活動のアピールや防災と触れ合える機会を提供していきます。「自分たちの地域は自分たちで守る」という意識を消防団から地域の皆さんに発信していき、根付いていくことが飯山市の地域防災力の向上に繋がると思っています。



協定団体と連携して実施した給水訓練